常設展「農村の四季」「川と人のかかわり」「地域のものづくり」「昔のくらし」

奈良県立民俗博物館・大和民俗公園

＊桜（8種580本）… 3～4月
＊花しょうぶ（80～90種1400株）… 5～6月
＊梅（3種140本）… 2～3月
※2020年時点

- 案内所（博物館事務所）
- お手洗い
- 多目的（身障者用）お手洗い
- 自動販売機（駐車場／博物館前）
- 休憩所
- 屋根つき休憩所

はなごよみ 花暦

2021年4月改訂

4月
サクラ、ユキヤナギ、コバノミツバツツジ
キリシマツツジ

5月
フジ、サツキ、バイカウツギ
オオヤマレンゲ、モチツツジ

6月
花ショウブ、アジサイ、タイサンボク
ササユリ、オオヤマレンゲ、ユリノキ

7月
アベリア、サルスベリ
スイレン、キンシバイ

8月
サルスベリ、ハギ、スイフヨウ、ワタ

9月
スイフヨウ、ハギ、ヒガンバナ、コスモス

10月
キンモクセイ、コスモス

11月
モミジ、チャ

12月
サザンカ、ウメモドキの実
クロガネモチの実

1月
サザンカ、ロウバイ

2月
ロウバイ、白梅、紅梅、ナノハナ

3月
白梅、紅梅、コブシ、モクレン、ヤブツバキ

ご利用案内

開館時間
博物館　午前９時～午後５時（入館は４時半まで）
民　家　午前９時～午後４時

博物館観覧料
※小・中・高生、65歳以上及び障がい者（障がい者を介助する者１名を含む）は無料

	一　般	大学生等
個　人	200円	150円
団　体　20名以上	150円	100円

公園・民家　無料

休館日　毎週月曜日（祝日、振替休日のときは次の平日）
年末年始（12月28日～1月4日）

交通案内
近鉄郡山駅下車
　奈良交通バス（1番のりば）
JR大和小泉駅下車　→矢田東山バス停→北へ徒歩約10分
　奈良交通バス（東口1番のりば）
駐車場（無料）（乗用車147台、バス5台、身障者用3台）
駐車場利用時間　午前7時～午後6時半（6月～9月は午後7時まで）

奈良県立民俗博物館
〒639-1058 大和郡山市矢田町545番地
TEL：0743-53-3171／FAX：0743-53-3173
http://www.pref.nara.jp/1508.htm

奈良県立民俗博物館

町屋集落 /旧城下町・旧寺内町・旧街道の家

❶旧臼井家住宅（高取町／重要文化財）

酒や醤油を製造・販売していた商家。入口にかけられた杉玉は新酒ができたことを知らせる看板の役割。
中庭には井戸、渡り廊下の先には手洗い、２階建ての蔵などがあります。

❷旧鹿沼家住宅（大和高田市／県指定文化財）

代々米屋を営んでいた商家。のれんの手前が店、奥が住居。瓦葺きの屋根にはかまどの煙を外へ出すための「煙出し」があり、屋根の上に取り付けられている小屋根が特徴です。
２階は物置として使われました。

国中集落 /奈良盆地とその周辺の家

❸旧吉川家住宅（橿原市／県指定文化財）

農家の特徴がよく表れている家。かつては母屋を囲むように長屋門・納屋・米蔵・離座敷などが建てられていました。
土間には精米や餅つきに使われた「唐臼」などがあります。

❹旧萩原家住宅（桜井市／県指定文化財）

「入母屋造り」という形の茅葺き屋根をした農家。庇には瓦も使われています。
入口の脇には、「厨子二階」と呼ばれる物置用の中二階がついた牛の飼育小屋があります。

宇陀・東山集落 /県の東部に位置する山間部の家

❺旧八重川家住宅（都祁村※／県指定文化財）

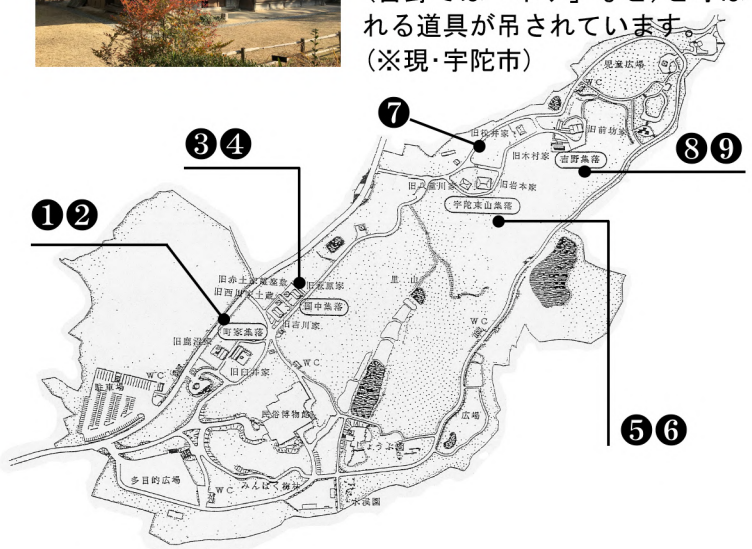
代々農業を営んでいた家。天井裏に「すのこ」を敷いて土が盛ってあるのは、火事が起こった時に天井が燃えるのを防ぐためです。屋根には煙出しの穴があります。（※現･奈良市）

❻旧岩本家住宅（室生村※／重要文化財）

平地に比べて雪が多い地域の家で、大きな屋根が特徴。屋根裏では蚕を飼いました。かまどの上には燻製を作る「ベンケイ」（吉野では「ホデ」など）と呼ばれる道具が吊されています。（※現･宇陀市）

❼旧松井家住宅（室生村※／県指定文化財）

「広敷」と呼ばれる板敷きの場所は現在の台所にあたり、食事もここでとられていました。すのこを敷いた床は、夏の暑い時季に風通しを良くする役割があります。（※現･宇陀市）



吉野集落 /県の南部に位置する山地の家

❽旧木村家住宅（十津川村／県指定文化財）

杉の木の皮で覆って石をのせた屋根は、この地域ならではの特徴のひとつ。屋根には雨よけの板も取り付けられています。
母屋の向かいは、牛小屋と手洗いに分かれています。調理は囲炉裏でおこなわれました。

❾旧前坊家住宅（吉野町／県指定文化財）

吉野山にある金峯山寺の門前町の家。参拝者を泊める宿の役割もありました。母屋と離座敷は渡り廊下でつながり、山の斜面に沿って建てる「吉野建て」という方法が使われています。